

第2回ふるさと歴史講座のお知らせ

ふるさと歴史講座は、太子町の歴史を学び、郷土に対する理解を深めることを目的として開催しております。今回は、戦後80年という節目の年に合わせ、日本各地への空襲が差し迫った時代の太子の様相と常陸太子駅を狙った空襲を取り上げます。

- 日 時 : 令和7年9月27日(土) 10:00~11:30
- 会 場 : 太子町立中央公民館 講堂 (太子町池田 2669)
- 演 題 : **空襲の時代と太子**
- 概 要 : アジア・太平洋戦争のさなか、日本の戦況が大幅に悪化する昭和19年(1944)から同20年にかけて、米軍機による日本本土への空襲が本格化していきました。人々は空襲への備えを余儀なくされるとともに、茨城県内でも、日立、土浦、水戸など多くの都市が甚大な被害を受けています。昭和20年7月18日には、常陸太子駅を狙った艦載機による空襲も行われました。空襲が差し迫る時代の中、太子の人々がどのように空襲と向き合い、どのような日々を送ったのかを中心に、戦争時代の太子の姿を考えてみたいと思います。
- 講 師 : 太子町歴史資料調査研究員 藤井 達也 氏
- 参加費 : 無料
- 定 員 : 50名程度 (9月1日から下記申込先に参加申込をお願いします。)
- 申込先 : 太子町教育委員会事務局生涯学習担当 (Tel0295-72-1148)

